

◇ 為櫻学園「光プロジェクト」 （進路探究） 「令和5年度 先輩講話」

日 時 ○ 令和5年 5月12日（金） 第6校時（14時40分～15時35分）

参加者 ○ 高校1～3年生、および附属中学校1・2年生

場 所 ○ 本校 第一体育館

＜講師＞ 石塚 清博 様（結城信用金庫 理事長） 本校第76回卒業生

👏 各界で活躍する卒業生の方をお迎えして実施している、毎年恒例の行事「先輩講話」ですが、今年度は久しぶりに対面形式での実施となりました。

今年度の講師を務めてくださったのは、石塚 清博 さん。結城信用金庫の理事長であり、本校第76回卒業生でもある方です。

本校を卒業されて早稲田大学商学部に進まれた石塚さんは、大学卒業後の1982年に結城信用金庫に入庫され、以来、「地域とともに歩む」という基本理念のもと、顧客の課題に寄り添い、ともに考え、課題の解決に取り組むというスタンスで、この県西地区の発展に大いに貢献してこられました。そのご活躍は地域社会からも高い評価を受け、2013年には常勤理事に就任、そして2018年6月、結城信用金庫の理事長に就任されて今日にいたります。

プラーベートではスポーツ観戦を何よりの楽しみとされ、下妻一高が出場する大会は、勤務が休みであれば必ず観戦にきてくださるそうです。とりわけ本校野球部の大ファンだとのこと。

また、本校卒業生にあたる行員の方々、倉持 純也さん（平成30年卒）、酒寄 柁矢さん（平成31年卒）と、広報担当の濱谷 沙織さんにもご同行いただきました。



限られた時間ではありましたが、豊かな社会経験から紡ぎだされる石塚さんの言葉は、含蓄に富んだものばかりでした。

「自分で物事を考えること、周囲に責任転嫁しないこと。」

「役に立たないことと価値がないこととはイコールではない。」

「失敗しても言い訳をしたり周囲のせいにしたりせず、認めて反省することで成長できる。」

「優秀な人ほど、簡潔に説明することができる。」

「読書にも『旬』がある。」

「ものごとを多角的に捉えることの大切さ。」

「周りと同じことをしていたら、周りと同じか、もしくはそれ以下の結果しかえられない。」

…などといったお言葉が生徒たちにじかに響くものであったことは、後述する生徒たちの「感想」からも明らかです。また、その場での生徒からの質問にも誠実に丁寧にご回答くださるなど、ひとつひとつのやり取りとお言葉から、石塚さんの人柄の温かさと「母校愛」を窺うことができました。

公務多用の折、貴重な機会をいただいたことに対し、石塚さんおよび行員の皆さんに、改めて心からの感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。



<生徒の感想から>

- ・ 講話の中で1番印象に残ったのは、「役に立たない≠無価値」ということです。

私は、役に立たないものは価値がないと思っていました。「役に立たないもの=需要ない=無価値」と考えていました。実際、Googleで調べるとトップに「【価値】 どれくらい大切か、またどれくらい役に立つかという程度。またその大切さ。ねうち。」と出てきます。しかし、そもそも「価値」や「需要」は人のさじ加減で決定づけられますから、私の考えが絶対とは言えません。それに、逆に「役に立つ=価値あり」となるかを考えるとそうではないと思ったのです。

人間の職業に基づいて「役立つ人=価値あり」を考えると、職場で永久に役立つことをしている人はまず居ないですし、企業や会社においては特に、代わりはいくらでもいます。

このように、石塚さんのお話を拝聴して以降自分の考え方が変わる気がしております。…大変ありがたいお話をありがとうございました

- ・ 人間は20歳から衰えていくと聞いて驚きました。これから限りある時間を有効に使っていきたいと思います。
- ・ 貴重なお話ありがとうございました。ディズニーリゾートの建築に下妻一高出身の方が関わっていると知って、私はディズニーが大好きなのでとても誇りに思いました。また、石塚さんのお話を聞いて、私も将来の夢のために大学受験を頑張ろうと思えました。
- ・ 最初から最後まで興味深い話でした。特に今は意味がないと言ってやらないことでも先を見据えて価値があるかどうかという考え方には感銘を受けました。
- ・ よく人間は三人称で自然と認識してしまうという話を聞いてハンマーで頭を殴られたような衝撃を受けました。自分も自然と70くらいまで生きていくんだろうと決め込んでいました。何事も当事者として認識することの大切さは部活動を通して学んでいますが、改めてその大切さを痛感しました。本日は本当にありがとうございました。先輩に食らいついてこれから頑張っていこうと思います！

- 言い訳をしないことって大事だなと思いました。石塚さんの話を聞いて、自分のダメなところを改めて感じました。
- 過去を振り返っても変わらない。未来を見る。先のことならまだ自分次第で変えられる。人生の質を高めるために今の自分ができることをやっていく。毎日後悔の日々…ミスしない人間などいない。そのミスを今後どう生かすか。読書の大切さもわかった。推薦でお気に入りの本等聞かれることもあると思う。石塚さんがおすすめてくださった方の本をぜひ読んでみたいと思う。
- 素敵な人生を送っていて素晴らしいと思いました。石塚さんのような素敵な人になりたいです
- 時間の大切さや、石塚さんの先輩方の話、ノーベル賞受賞者に関する話など、どんどん進化していく未来を生きていく私達中高生の役に立つ素敵な講話をありがとうございました。石塚さんの話を忘れずに、これからの日々、生活していきます！
- 将来の夢がエンジニアで、そのためには理科大学や工業大学に受かりたいので、時間を無駄にしないように勉強に励みたいです。今日は、貴重なお話をしていただきありがとうございました。
- 私は、多角的な見方をするという石塚先生の考えに共感しました。小学校6年の時の先生が下高出身で、よく「違った人の意見を聞き、その人の立場に立って考えるようにしなさい。」とおっしゃっていました。それについて、社会に出た人の視線でのお話を聞けて、とても勉強になりました。本当にありがとうございました。
- 自分は何者なのか、何ができるのか、特徴は何なのかを考え、行動することが大切だとわかりました。このような時間をいただきありがとうございました。
- 人生をただ何となく生きるのではなく、自分の好きなこと、得意なことを見出して生きていくことが大切だと、先輩講話を聞いて考えました。
- 貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。特に最後にお話しいただいた、お父上が亡くなられた時のお話が、印象に残りました。一生に一度しかないことなので、お話いただけて嬉しいです。本当にありがとうございました。
- 石塚さんのお父さんが優しい方だなと思い、私はいつかそんな優しい人になりたいと思いました。これまで失敗を重ねるごとに言い訳をして、失敗から目を背けてきましたが、失敗は自分の実力が不足していたために起きてしまったことだと割り切って次にどうするのか、失敗をしてしまったのは悪いことではない、次に生かそう、と考えてこれからは失敗を恐れずに挑戦するようにしようと思いました。